

かずさエフエム 2011年5月番組審議会 議事録

開催年月日：平成23年5月26日(木) 17時00分～18時00分

開催場所：拓植大学紅陵高等学校 大会議室

委員の出席 委員総数 7名  
出席委員数 4名  
出席者の氏名 梅澤 千加夫（委員長）、玉造 福壽（副委員長）、森 章、  
柳瀬 雄太  
欠席委員の氏名 地曳 洋治、佐伯 康子、岡 恭子  
放送事業者側出席者 石村 比呂美、兼平 健一

## 1. 議 題

- ・東日本大震災における対応
- ・サイマルラジオ放送開始について

## 2. 審議内容（抜粋）

（放送事業者 石村）

弊社も震災の影響を大きく受けましたが、他のコミュニティ放送局も大変尽力されたという報告があり、自分たちで手作りのアンテナを作って放送を聴ける状況にした、という活動を行った局もあるそうです。

来月に開かれる木更津市議会の一般質問において、今回発生した東日本大震災に対し、弊社をはじめとするコミュニティエフエムがどのように対応したか、取り上げられることになっております。

（柳瀬 委員）

計画停電時は、どのように対応されましたか？

（放送事業者 石村）

発電機を演奏所と送信所にそれぞれ設置し、対応致しました。また送信所は、非常用バッテリー（UPS）

を追加し、長時間停電になった場合でも放送が続けられるよう、準備を致しました。

(放送事業者 石村)

4月4日からインターネット、5月11日からはiPhoneやiPod touchでも番組を聴くことができるサイマル放送が始まり、おかげさまでリスナーも増えてまいりました。

(玉造 副委員長)

九州にお住まいの方から、番組宛てにリクエストがあったのを聴きました。地元に着した自主制作の番組から全国ネットの番組になると、この地域から話題が離れることもあり、地元のリスナーが離れてしまうこともあるのでは、とも思いました。

(放送事業者 石村)

自主制作番組を増やしていくことは、今後の課題でもあります。現在、サイマル放送では、平日の午後から夕方にかけて3時間ほど自主制作の番組を放送していない時間帯があり、その間はサイマル放送を中断させなければなりません。これからも地域に根ざした番組作りを意識しながら、朝7時から夜9時まで、通常の放送でも、サイマル放送でも自主制作番組を放送できるように取り組んでいき、リスナーの拡大を図っていきたいと考えております。